

# 史料紹介 学習院神田錦町時代の焼失教材

鎌田 純子

## はじめに

明治十九年（一八八六）二月十六日午後五時過ぎ、神田錦町の学習院校舎は二階から火を発し、教場や事務室など、学校の中心部を焼失した。焼失を免れたのは、書器局・食堂・厩だけであったという<sup>1)</sup>。その二ヶ月近く後の同年四月十三日、時の院長大鳥圭介から宮内大臣伊藤博文宛に、「学習院出火之際焼失品取調簿」（学習院アーカイブズ蔵）（以下、「焼失品取調簿」と略称）が提出された。ちなみに、大鳥圭介が院長に就任したのは、その三日前の四月十日であった。この「焼失品取調簿」は、「書籍」「教育器械」「教場備付品」「武器」「什器」「医員付器械」「記録書類」「会計書類」「第志課諸帳簿」「雑具」と十項目にわたり、項目ごとに焼失品が一つ一つ書き上げられている。本史料紹介では、この「学習院出火之際焼失品取調簿」のうち、「書籍」「教育器械」「教場備付品」「武器」「什器」の五項目、すなわち教材や書籍など教育に関する焼失品の目録を翻刻、文末に掲載する。

周知の通り、学習院は、華族会館が経営する教育機関として明治十年十月十七日に開校、神田錦町に校舎がおかれた。同十七年四月十七日には、宮内省所轄の官立学校となり、同年九月四日には、宮内省達をもって学習院の教育目的や教科・授業時間などを定めた学習院規則が制定された。神田錦町時代は、学習院にとって開校当初の華族会館が抱いた教育の理想を残しつつ、学習院独自の教育方針が定められ始めた時期といえるだろう。また、明治の学校教育史の面からも興味深い事例であろう。本史料紹介が、

初期学習院の教育の実態の一端を明らかにし、明治期のわが国における学校教育を知る手がかりの一助となれば幸いである。

## 書器室の書籍と焼失書籍

神田錦町校舎の火事の様子は、明治十九年二月十八日付『東京日日新聞』に詳しく掲載されている。その一部を掲げると（前略）天井一面の火となりて撲ち滅すべき様もなしさらば早く要用の品ども取り出だせとて、十余人の小使を使役し緊要の書類火薬銃器類を取り出せしが其余までには手の廻らずして備付の理化学器械其外とも皆焼けたり（中略）此火によりて焼亡せる学校器械とも代価に積りて七万円余なるべし、唯先頃書器室と云ふを新たに設け、旧藩主の方々より納付せられし稀有の書籍器械及び日々授業用の書籍とも残らず此に入れられたれば、幸ひに烏有の禍を免かれたりと云ふも責ての事なるべし。」とある。火事の最中緊急に、取り出せたものもあつたが理化学器械などは焼けたという。一方、神田校舎には書器室があり、ここに収蔵されていた書籍・教材類は、焼失を免れたという。従って、「焼失品取調簿」に記された「書籍」は、書器室以外の場所に保管されていたものと推察される。事実、現在、学習院大学図書館には、京都学習院時代の旧蔵書も伝存しており、難を逃れた書籍が少なからずあつたことは間違いないだろう。

また『学習院百年史』によれば、学習院の開校準備段階で、各華族から書籍、教材、樹木などが相次いで寄贈された。そのうち書籍は、明治十年

十二月末の時点で、宮家や各華族、教師や書肆からの寄贈分と新規購入分とを合わせて、和漢書一万四三七八冊、洋書一九九四冊に達したという<sup>(3)</sup>。寄贈はその後も続き、さらに同十三年九月四日には宮内省から京都学習院の旧蔵書一七〇七冊が寄贈された。一方、「焼失品取調簿」に記された焼失した書籍の数は、和漢洋書総計二千七百十二冊、英独仏合計百五十九冊で、冊数の上からも焼失書籍は蔵書の一部に留まったことが窺える。

焼失した書籍の中には、東京大学、宮内省、個人からの借用書籍も含まれていた。「学習院土地建物録（明治十九年）」（学習院アーカイブズ所蔵）には、火事の後、東京大学から借用していた「士都華氏物理学」（バルフォー・ステewart著、東京大学理学部出版、一八七九）三冊のうち一冊が焼失し、同大学に現金返納すべきか問い合わせる文書が残されている。

## その後の教材確保と大鳥圭介院長の尽力 —旧工部大学校からの譲渡・購入—

神田錦町校舎の焼失により、書籍の他、物理や化学、生物で使用する器具や実験道具、標本、あるいは図画の手本や道具など「教育器械」と項目されたものも数多く失われた。さらに、机や椅子などの「教場備付品」も焼けてしまった。当時の学習院にとって、失われた教材や備品類の確保は必須課題であったに違いない。これらの補充がその後どのように行われたのか、少し補足しておきたい。

初めに、校舎の移転についてごく簡単に触れておく。神田錦町校舎焼失の後、別の土地に新校舎を建設する予定であったが、適当な土地がなく、最終的に虎ノ門の旧工部大学校校舎へ移転することが決まった。折しも、工部大学校は明治十九年三月に東京大学と併合し「帝国大学工科大学」と名を変え（以下「工科大学」）、同二十一年夏には本郷の帝国大学構内の新築校舎への移転が予定されていたからである。同十九年七月二日、宮内大臣伊藤博文から学習院に対し、宮内省所轄の神田錦町にある学習院敷地・建物を文部省に渡し、一方、文部省所轄の虎ノ門の工科大学の敷地・建物

は学習院が使用するために宮内省が受け取る旨（すなわち交換）が達せられた<sup>(4)</sup>。同二十一年八月、本郷の帝国大学内に工科大学の新校舎が落成して移転すると、学習院は虎ノ門の旧工部大学校校舎へと移った。

工科大学が本郷に移転する前、院長・大鳥圭介は、同校が不用分の教材や器具、備品類を学習院に譲渡してほしいと、積極的に依頼している。かつて拙稿では、学習院が旧工部大学校の博物場に保管されていた石膏・彫刻・洋画など図画の教材類を譲渡してもらった一件について紹介した<sup>(5)</sup>。さらに、物理や化学などの実験道具をはじめ、机や椅子などの備品に至るまで、多種多様の物品を工科大学から得ている。教室の備品類など、代価を払って、工科大学から得たものもあった。それらの経緯や内容についての詳細な記録は、「学習院重要雑録（明治二十一年）」（学習院アーカイブズ所蔵）に綴じられている<sup>(6)</sup>。こうした大鳥院長の尽力により学習院は、工部大学校という明治政府の御雇外国人教師達が教鞭をふるった、謂はば当該期における最先端の大学で使用していた教材や備品類を手に入れることができたのである。

ところで大鳥圭介が、工科大学に対してこのような要請ができたのは、おそらく学習院に赴任する前、明治十五年〜十八年にかけて工部大学校の初代校長を務めていたことが大きく作用したであろう。大鳥圭介が第三代学習院長に就任したのは、明治十九年四月十日で、神田錦町校舎が火事に見舞われたおよそ二か月後のことであった。第二代学習院長・谷干城は明治十八年十二月二十二日に退官しており、火事の時、院長職は不在であったのだ。冒頭で述べたとおり、大鳥は院長就任の三日後に、本稿で紹介する「焼失品取調簿」を宮内大臣に提出、その後も手際よく、工科大学に対し様々な要求や手続きを行い、学習院の迅速な復興に尽力した。大鳥が学習院長に就いた経緯は現在のところ未明だが、結果的にみれば大鳥の院長就任は、学習院にとっては新たな校舎と豊富な教材、備品類の獲得につながったのである。

註釈

(1) 『学習院百年史 第一編』(学習院百年史編纂委員会、学習院発行、一九八一年)三〇七頁

(2) 大島圭介から伊藤博文に宛てた按分の廻議書が残されている。本史料は、学習院アーカイブズ所蔵『学習院土地建物録(明治十九年)』に綴じられている。史料の閲覧にあたっては、学習院アーカイブズの桑尾光太郎氏に御高配を賜りました。

『学習院土地建物録(明治十九年)』

第八十一号

明治十九年四月十二日廻議

長 大島(朱印) 幹事

清行(朱印) 主任 正木(朱印)

本省江進達按

過般本院出火之際焼失仕候書籍器械其他共取調候ニ付、別紙焼失品調簿壹冊並物品表書籍表、貳葉進達仕候也、

明治十九年四月十三日

学習院長大島圭介

宮内大臣伯爵伊藤博文殿

(3) 『学習院百年史 第一編』一六二―一六三頁

(4) 『学習院百年史 第一編』三三〇頁

(5) 鎌田純子「松室重剛と学習院の図画教育」(『学習院大学史料館紀要』第十七号、平成二十三年)

(6) たとえば、次のような廻議書が『学習院重要雑録』に綴じられている。なお、ここには掲載しないが、史料中に出てくる「別紙ニ記載之品々」も一つ一つ内容が記録されている。

『学習院重要雑録』(明治二十一年)

第二百五号

明治廿一年四月廿三日 廻議

長 大島(朱印) 教頭 嘉納(朱印) 幹事 河野(朱印) 主任

貴校博物場其他諸教場等ニ御備付之器具機械類之内、別紙ニ記載之品々本院江御譲リ受致度御差支之有無御取調御回答相成度、此段及御照会候也

明治廿一年四月廿三日

学習院

工科大学御中

【史料翻刻】明治十九年二月十六日「学習院出火之際焼失品取調簿」

凡例

- 一 本史料翻刻は、学習院アーカイブズ蔵『学習院土地建物録(明治十九年)』のうち、「明治十九年二月十六日学習院出火之際焼失品取調簿」のうち五項目を翻刻したものである。
- 一 翻刻にあたり、漢字は正字で記されているものは常用漢字に変換した場合がある。異体字は原則として正字に改めた。
- 一 翻刻にあたり数字の表記を以下のように変換した。十↓  
一〇、百↓一〇〇、千↓一〇〇〇
- 一 原史料では項目内の各資料名は全て一つ書きになっているが、翻刻にあたり「一」は削除した。

「明治十九年二月十六日学習院出火之際焼失品取調簿」

項目
一 書籍
一 教育器械
一 教場備付品
一 武器

- 一 什器
- 一 醫員附器械
- 一 記錄書類
- 一 會計書類
- 一 第壹課諸帳簿
- 一 雜具

書籍

国典及訳書

- 筆算題叢 答式共 一一四冊
- 算学教授書 一七冊
- 小学算術書 二冊
- 応用動物学 三冊
- 小学読本 一九冊
- 通常植物 一冊
- 小学作法書 三冊
- 錦絵修身談 一二冊
- 新編小学読本 四冊
- 小学物理書 二冊
- 修身叢語 六冊
- 初等算術教科書 一冊
- 統計年鑑 一冊
- 通常金石 一冊
- 代数教科書 一三冊
- 幾何新論 五冊
- 航海表 一冊
- 側角便蒙 三冊
- 草木図説 二〇冊
- 幾何学 一冊

- 幼学綱要 二一冊
- 数学教授書 二〇冊
- 宥克立幾何学 一冊
- 算学講本 四冊
- 算術教科書 二冊
- 日本外史 五七冊
- 新撰地理小学 四冊
- 小学文編 九冊
- 筆算教授書 三冊
- 小学博物書 二冊
- 習画自在 九冊
- 小学画学手本 一冊
- 小学普通画学本 二四冊
- 画学臨帖 二冊
- 画法階梯 四冊
- 画法階梯 四冊
- 初等小学筆算教授書 八冊
- 中等科博物学 四冊
- 地理小学 二冊
- 修身編 二冊
- 生徒訓條 九冊
- セルトン鹿物指数 一冊
- 小学修身叢談 一冊
- 小学作文全書 二〇冊
- 作文稽古本 二冊
- 動物教授書 二冊
- 植物教授書 二冊
- 動物書 一冊
- 物理初歩 一冊

普通動物学	二冊	海軍一覽表	一冊
讀史餘論	六冊	古事記伝	二冊
評註 校正神皇正統記	一〇冊	上等作文五百題	一冊
繪本源平盛衰記	一冊	小学道德編	一冊
ふみのはやし	一冊	国史案	三冊
冠辞考同統貂	一七冊	大日本史	一〇五冊
日用文鑑	二冊	六国史	一〇冊
文話	二冊	大平記	二冊
語彙別記	八冊	国史紀事本末	二冊
文法口授	一冊	野史	一六冊
参考	一冊	理事功程	八冊
標註十六夜日記読本	一冊	西国事物紀原	四冊
参考 標註土佐日記読本	一冊	修身児訓	七冊
日本政記	一〇冊	修身説約	一四冊
令義解	六冊	教育辞林	九冊
王代一覽	一一冊	小学中等読本	九冊
小学日本歴史	四冊	日本教育史略	一冊
日本小史	六冊	和漢修身訓	一一冊
勸善訓蒙 後篇	八冊	小学漢文読本	三冊
輿地誌略	四冊	国史擊要	八冊
地学教授本	五冊	皇朝史略	八冊
学校用地文学	六冊	万国史記	一〇冊
幾何教科書	四冊	万国地誌略	五冊
今礼名家文抄	三冊	国史略	五冊
歩兵操典	二冊	和漢洋年表	一冊
村田銃取扱法	二冊	日本開進論	五冊
博物教授書	一冊	曾我物語	一二冊
今世名家文抄	四冊	古今紀要	四冊
生理解体図説	四冊	刪修近古史談	四冊
日本略史	四冊		

制度通	一三冊
形勢総覧	一冊
萬国通典	六冊
物理小学	三冊
士都物理学	六冊
弗氏生理書	七冊
海産論	一冊
山海名産図会	五冊
訓蒙動物学	二冊
植物通解	一冊
平三角教科書	一冊
策府	二冊
日本製品図説	三冊
雅遊護録	七冊
永代節用無尽蔵	一冊
訳文筌蹄	五冊
訳文須知	五冊
和文読本	四冊
物品識名	四冊
和漢三才図会	七九冊
史籍集覧	四二九冊
倭名類聚鈔	五冊
和漢合類大節用集	一三冊
官令新誌	一八冊
類聚法規	二一冊
新体書翰便蒙	二冊
鹿兒島外史	五冊
徵兵令註釈	一冊
新撰小学読本	三冊

新撰年表	一冊
近世泰西通鑑	二六冊
社会学	三冊
小学入門	一冊
代数学	一冊
小学筆算例題	二冊
栗山文集	一冊
体操教範	二冊
化学書	八冊
大日本分国全図	一冊
学庭教育	三冊
大日本全図	一冊
地理論略	一冊
新瓦蘭表	一冊
漢籍及訳書	四冊
十八史略副註	四冊
大学衍義	五冊
十八史略	一三冊
歴代古文鈔	二七冊
四書匯参論語	一四冊
史記評林	四五冊
韓文起	一〇冊
唐宋八大家文	二二冊
靖献遺言	三冊
左繡	一六冊
詩經集註	八冊
資治通鑑	二冊

通計一五五九冊



ブラナン氏文法書 二冊  
 マーチンドール氏綴字書 一冊  
 ラッセル氏ユースヲフボイスイン  
 リーディング、スピーキング 一冊  
 ホウエトリー氏レトリック 一冊  
 プレイヤー氏レトリック 一冊  
 アッドラー氏英独字典 一冊  
 リーピンコット氏ガセツチアー 一冊  
 ホワートン氏法律字典 一冊  
 ウエブストル氏大字典 一冊  
 英和字彙 一冊  
 レイロー氏サイクロフエデアー 三冊  
 チャンバー氏百科全書 二冊  
 バーナード氏教育書 一冊  
 ベイン氏教育学 一冊  
 ヘバート氏教育原論 一冊  
 フェルプ氏教師必携 一冊  
 ウイカーセム氏学校経財法 一冊  
 ロシター氏デイクシヨナリーヲフサイエンチ  
 フィックタームス 一冊  
 ニユト、デイクシヨナリー、ヲフ、  
 クラーテシヨシ 一冊  
 ケート氏人名字書 一冊  
 ヒュージ氏地理字書 一冊  
 平文氏字典 一冊  
 マカロック氏ブリッチシユ  
 エムバイアー 二冊  
 バyson氏学校報告 一冊  
 ダイヤー氏近世欧州史 四冊  
 サイヤンス、マンスリー學術雜誌 一冊

ロビンソン氏代数学 答式共 二冊  
 同 高等算術書 一冊  
 同 幾何三角法 一冊  
 パーレー氏萬国史 一冊  
 フレデリック氏画学本 五冊  
 ニコルソン氏マニユアルヲフ  
 テクストブツクヲフ 一冊  
 同 スターロジ 一冊  
 同 バイヲロジ 一冊  
 ミル氏利用論 一冊  
 フラーセツト氏大理財書 一冊  
 アーノルド氏学校論 一冊  
 チャプソン氏仏蘭西文法 一冊  
 ゼボン氏論理学 一冊  
 マツコーレー氏ヘスチング伝 一冊  
 同 ミルトン伝 一冊  
 スチウワルト氏物理書 一冊  
 ロスコー氏化学書 五冊

独逸書

ウエルテール氏小萬国史 一冊  
 ボック氏第一読本 一冊  
 同 第二読本 一冊  
 同 第三読本 一冊  
 ヘステル氏第一読本 一冊  
 同 第二読本 一冊  
 同 第三読本 二冊  
 サンダー氏同意字典 一冊  
 平塚氏独逸文法階梯前編 一冊

通計九一冊

ハイゼー氏大文法書	一冊	士都華氏物理学	一冊
ラルドロゲー氏読本	三冊	ハイゼ氏小文法書	一冊
ウラルマン氏読本	二冊	右大学ヨリ借用	
ウエルケル氏政治字典	一二冊	草木図譜	四九冊程
ハイゼー氏他国字典	一冊	右抵当トシテ藤城重道ヨリ預リ	
ウエーベル氏大萬国史	二冊	草木図譜原本二冊騰写四十枚程	
マイエル氏辞書	一冊	右騰写藤城重道へ依頼	
		右約定書	一通
通計三二冊			
外書		教育器械	
ロッシュ氏英国史	一冊	第一類物理器械第一物性及力	
ジュクドレー氏仏国史	一冊	ノーニユス物指	二本
マルタンベル氏大地図	一冊	メートル尺	一本
仏蘭西第一読本	一冊	木庖	一個
仏蘭西第二読本	一冊	枱	三個
仏語階梯	三二冊	リトル積錐形	一個
		固体ノ凝屈試験スル器	二組
		粘着玻璃	二組
		鉛粘着器	一組
		真空管	一個
外二		槓杆器	一組
射的捷徑	九九冊	平行方形説明器	一組
本末記要第二稿	三冊	滑車	四個
外二未成冊ノ分拾餘綴		輪軸	一個
支那歴代表稿	一冊	萬力	一個
同 浄写之分	一冊	斜面盤	一個
太平記節録騰写一二ノ分	二冊	中心驗器	一組
官用簿記例題		ブリキ製中心測定器	一個
本省其他ヨリ借用ノ書籍		中心器	一組
通鑑目錄	一ノ巻一冊		
右宮内省ヨリ借用			

斜塔	一個
平均器騎馬	一個
円錐体	一個
重複円錐並台	一個
不倒土偶	一個
秤附屬分銅	一個
天秤付屬分銅	一個
惰性試験器	二組
垂線器	一個
震子 付屬品	一組
搏力球	一個
遠心力器械	一個
アトウート氏器 付屬品	一組
大理石盤 付屬品	一組
振子	一個
ダイナモメートル	一個
重心試験用達磨	一個
カセートメートル	一個

第一類物理第二気体

排気機 乙	一個
マグネホルク半球 乙付屬	一個
大気ノ壓力ヲ験スル器械 乙付屬	一個
鐘 乙付屬	二個
乾燥皿 乙付屬	一個
排気機 甲	一個
玻璃鐘 甲付屬	二個
大気ノ壓力ヲ験スル器械 甲付屬	一個

小以四五個

第一類物理第三液体

マグネホルク半球 甲付屬	一個
大気排出ヲ験スル器械甲付屬	一個
トリチリー氏	二本
水銀小瓶	一個
膀胱	一個
気体ノ重量ヲ験スル器械 付屬錘一	二組
真空噴水器	一個
マリオット試験器一気	一個
同 二気	一個
サイレン	一個
水銀槽	一個

水平器	二個
反動車	一組
上壓試験器 甲乙	二個
傍壓試験器	一個
水壓罐 付屬鉛重量	一組
アルキメート氏説明器 甲乙	二組
ハイドロメートル円筒附	一個
アリオメートル円筒附	二個
ラクトメートル	一個
細管 箱入	六本
細管	三本
サイホン硝子二黄銅一	三品
漏斗	一個
海綿	二個
タンタルス氏杯	一個
吸上ケポンプ 付屬台一漏斗一	一組

小以三三個



顕微鏡 箱入 一組  
 眼球雛形 台付 一組

小以一九個

第一類物理第七磁器及電気

馬杵形磁石 鉄一車一 一組  
 棒磁石 一個  
 磁針 二個  
 硝子及松膠柱 一組  
 エレキノ震子但台 一個  
 金箔エレキトロス、コツプ 一個  
 摩擦電気器 甲 一個  
 摩擦電気器 乙 一個  
 ホーツ氏電気品 一箱  
 導子 一個  
 絶縁台 一個  
 レーデンチャイ 甲乙 二個  
 鈴 一組  
 デズチアーデル 三個  
 避雷柱 一個  
 エレキ車 一個  
 エレキ銃 一個  
 イーセル氏点火器 一個  
 酸水二素ノ発砲器 一個  
 エレキ球 五個  
 電光器 一個  
 グループ氏電池 一組  
 同四ツ組 甲乙 二組  
 水ヲ分析スル器 三個  
 ガルバームートル 一個

エレキトロコエル 一個  
 電気磁石 三個  
 電信機雛形 一組

グニール氏電池 一個

磁石ノ方向ヲ変換スル器械 甲乙 二個

エレキ発火器 一個

電信器械 一ハモートル氏 一ハソリー氏 二組

エレキトロホールス 一個

鉄半輪 一組

電気通スルトキ施転スル器械 一組

電気ノニキリ 一組

電信鳴子及電池 一個

ウインヤース摩擦発電器 一個

第二類化学 第一器械

小以五三個

第二類化学 第一器械

自吹アルコール燈 一個  
 吹管 内二個鉄葉製 三個  
 フレセレ氏瓦斯燈 金製 一個  
 三角鑪 二個  
 キルクボール 一組  
 試験管挟 二個  
 鉄籠羅 一個  
 鉄匙 一個  
 蠟燭差 一個  
 坩埚挾 一個  
 瓦斯メートル 附屬噴出管 二個  
 吸篋子 一個  
 鉄葉製水槽 二個

鉄管	一個	加里球	一個
鉄製レトルト台	二個	火酒燈	二個
ヘルセリス氏燈	一組	気類製壺	二個
五徳	二個	磁製乳鉢	一個
酸素製造レトルト	一個	同坩堝	一個
冷管	一個	磁製水槽	一組
鉄乳鉢 並棒	一個	広口大壺	四個
鞆	一個	受置ノハイレット入	二個
木製レトル挾	二個	沸騰壺	一五個
木製試験管台	一個	シリンドル	八個
結晶軸挾	二個	丸形ヤスリ	二本
試葉箱	一個	水銀槽	一個
試験杯	一一個	磁器ランプ	一個
漏斗	一三個	磁製蒸発皿	二個
沸騰壺 一リトル入	五個	ヨジヲメートル	一個
沸騰壺 ハヲンス入	三個	ヒュレット但シナム十分ノ一目モリ	一個
沸騰壺 五リトル入	一個	大壺球安全管	一個
麦酒杯	五個	小壺球安全管	一個
乳鉢 附属棒二本	一個	三頭壺キハイレット入	一個
レトルト	二個	同 半ハイレット入	一個
ベーカー 内小二重アリ	七個	瑪瑙乳鉢経ニイレラ棒付	一個
球形大壺	一個	鋼匙	一個
滴水器	二個	陶匙	一個
瓦斯聚管	一個	ヒンヲコック	三個
大玻璃管	二個	ビーカー	一組
還元管	二個	定量壺	一個
乾燥凹形	二個	レトルト台	二個
管付漏斗	二個	エーカハアース	一個
同球管	一個	ロシヤランプ	一個

オートルハアース

一個

小以六九七個

試験管台

一個

漏斗台

一個

砂皿

五枚

鉄三角

一〇個

鉄細

二尺

玻璃板 二寸五分六付

五枚

同 二寸五分

一〇枚

燃燒炉

一個

鉄コンロ

一個

小以一九四個

第二類化学第二薬劑

原素標本

二二種

鉍物及ヒ藥品標

一箱八五種

藥品標本

三七種

小以一四四種

目錄外

墾入レ藥品類

一五〇墾余

第三類礫物 第一

礫石類 但日本産 内 四〇個堀出欠損

七五品

礫石類ダナ氏

四箱四〇〇種

日本鉍物見本

二箱二〇〇種

色石見本

一七個

純金板但目方壹匁

箱入一枚

琥珀

箱入一塊

岩石

三個

第四類生物第一人身

人体機械ノ頭腦

一個

第二獸

鼠 眞肉去り乾作り

一疋

馬骨

一頭

第三禽

鳥類 眞肉去り乾作り

八種

第四魚

魚類 但アルコール漬  
魚類 眞肉去り乾作り

六〇墾  
三

同

虫類 但欠損シモノ

二〇七種

甲翅虫類 但シ欠損モノ

四〇種

虫類アルコール漬

六五瓶

亀甲

一個

同

第六植物

二〇種

草木枝葉花果見本

六〇種

海草及種子類

二箱

日本有用植物見本

一本

小以四七〇個

第五類天文及地理第一天文

天文学器械 但ブリキ製

二個

大渾転儀

一個

小渾転儀

三個

小以六個

第五類天文及地理第二地理

- 地球儀 一一個
- 地球各國全圖 六枚
- 伸縮地球儀 一個
- 坳突地球儀 一個
- 小形地球儀 一個
- 地球儀合図 一箱

小以二一個

第六類人工物第一模形

- 人手貝巢等模形 漆喰細工 三種
- 形体標本 六組
- 斧雛形 一個
- 鎗雛形 一個
- 結晶雛形 紙細工 二組

小以三一個

第六類人工物第二器

- 釣道具 三箱
- 釣竿 二本
- 舂 五個
- 餅箱 二個
- 糸卷 三個
- 纏 二本
- モジ切レサデ 一本
- 鳥網 一張
- 投網 一張
- 船雛 二船
- 松繩 一把

白杵雛形

- 米櫃持器械 一組
- 扇 一本
- 天秤 内小天秤皿付 二棹
- 鉈 一挺
- 砂時計 一個
- 草木摘取入器 但小頭微鏡添 一個
- 權衡 五個
- 鹽 一個
- 米櫃 一個
- 箕 一個
- 蓑笠 一具
- 捕虫並漿置用具 五個
- 画学器械 三組
- 大算盤 五面
- 指数器 三面
- 鎌 一挺
- ブン廻シ 一本
- 綿卷 一個
- 小目鏡 一個
- 米搗機械雛形 一個
- 張文庫 一個
- 箱目鏡写真用 一個
- 花枝器械 一六種
- 風琴 一個

小以八二個

第六類人工物第三玩器

- 勉ムレバ智識ヲ増

二六組

大日本全図 一七組

地球全図 一七組

五十音並方 二七組

組織細工 第一 二二組

組織細工 第二 二六組

画学の基礎 二三組

形体ノ初学 二二組

剪刀細工 一九組

組織の手初 二三組

画学の初歩 八組

動物図智慧の板 一八種

色骨牌 六五枚

幼稚園玩器 六箱

同 六箱

綴字一步 一箱

第六類人工物第四織物 箱入四枚

紫蕨製物見本 二枚

第六類人工物第四図画 油絵額 二枚

単語図 六組八端モノ三〇枚

連語図 九組四五枚

伊呂波五十音 九枚

加算 九枚

乗算 九枚

数字 九枚

羅馬数字 一〇枚

線及度面及体図 九枚

色図 八枚

金石一覽 一枚

ウイルソン氏小学掛図 五枚

同 小学掛図 六枚

スクールタレット掛図 五枚

習字図 一枚

モンロー氏小学読方掛図 二七枚

教育絵解 二帖

小学指教図 五枚

写真 二九枚

石板画 九枚

第六類第五図幅ノ部 小以三二品

東京府管内暗射地図 一幀

新訂萬国全図 一幀

世界全図 一幀

与地新図 五幀

新訂日本与地全図 二幀

日本帝国一統全図 一幀

明治東京全図 二幀

暗号大日本分図 一〇幀

暗射肢体全図 一〇幀

博物図 六幀

字内各国盛衰全図 一幀

萬国地史略暗射地圖 二〇幀

南亞米利加 一幀

北亞米利加 一幀

亞仏利加 一幀

歐羅巴州 二幀



棍棒	五組
唾鈴	七組
大旗	二本
山本製ノ鞆	三個
破損ノフットボール	一個
ベースボール棒	三個
球竿	四個
器械鉄の棒	一本
劍術襦袢	二枚
柔術襦袢	一枚
毛布	一枚
鑄鍋	三個
同柄	三個
火炉	一個
木槌	二個
檯台	二個
照準架	三個
砂囊	二個
板製標の張	五個
小標的 板製	五個
二米突木製の	六枚
鉄板標的	二枚
同掛	二個
旗竿	八本
パレット	四個
呼子笛	四個
銃架	一六個
軍刀架	一個
ヅウク標的	一個

教場備附品

背囊	二三個
歩操演習服	冬夏四着
同帽	二冠
同沓	二足
體操教範	一冊
測図記号	一枚
携帶凶板 護謨付	一個
磁石	一個
授業机	二四七脚
同腰掛	二二二脚
ポートル板	五六枚
同拭	二五個
生徒人名札	九八一枚
教師机	二五脚
硯石	一七四個
授業時間表板	四一枚
水墨入	一〇個
瓶	一四個
生徒雜具入箱	一個
石板	二四枚
武器 陸軍省ヨリ借用ノ分	總計一八二九個
但掘出ス	總計三二〇一個 内掘出三個 小以四個
小以一七〇個	



中椅子	三個
椅子蒲団	五五枚
上等釣ランプ	三掛
上等帽子掛	一個
帽子掛	七個
テーフル掛	三枚
並机	一二脚
箆筥	七個
小箆筥	一脚
大時計	二個
八角時計	一個
算盤	一二個
寒暖計	三個
書筒差	七個
呼鐘	四個
書棚付机	一脚
簿記机	一脚
上机	五脚
権衡 但二一、貫目掛	一挺
同 但二六〇目掛	一挺
短冊箱	三個
同 挟	二枚
菓子皿尺	一六枚
黒塗広蓋 大小	四枚
黒塗茶台	五五個
大花瓶	一對
太鼓	一個
陣鐘	一個
真鍮燭台	八個

竹製燭台	九個
黒塗高台	四個
朱檀野引定木	一本
郵便権衡	二個
印箱	六個
大硯石	二個
晴雨計	一個
葉柄上火箸	二四個
火鉢	二九個
大火鉢	五個
小火鉢	一個
休憩所生徒食台	四三脚
重戸棚	二個
戸棚	六個
休憩所生徒腰掛	六五個

總計二二六八個 内紙三三〇枚